

インターネット出願について

出願の方法は全ての入試区分においてインターネット出願のみです。

三重県立看護大学では、国公立大学でいち早くインターネット出願を取り入れ、平成 25 年度入学者選抜試験から、特別入試について全面移行し、平成 28 年度入学者選抜試験から、全ての入試区分においてインターネット出願に移行しました。

インターネット出願では、インターネットに接続したパソコンを利用して出願が出来ることから出願書類を取り寄せる必要がないこと、システムの自動チェックで入力漏れ・ミスが防止されること、インターネット上で出願内容の確認が出来ることなど、インターネット出願の利便性が評価を得ています。

また、入学検定料は銀行 A T M やコンビニエンスストアなど多様な方法から選択して支払うことができ、手数料は大学が負担しています。

インターネット出願の方法については、大学ホームページでご確認ください。

なお、インターネット環境がない志願者の方は、下記の問い合わせ先まで、出願期限に余裕をもってご相談ください。

問い合わせ先

三重県立看護大学

事務局教務学生課

電話：059-233-5602

教育理念

崇高な人間性と幅広い視野を基盤に、先進的な知識と技術を教授することにより、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに応え得る能力を養います。これとともに看護実践に関する総合的な能力を養い、もって社会の幅広い分野において、人々の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材育成を目指します。

さらに、看護学の進歩と独自の学問体系の確立に寄与できる将来の看護教育者及び研究者を育成します。

教育目標

1. 生命の尊厳に基づく倫理観と柔軟な思考力を備え、人間を全人的に理解し、行動できる能力を養います。
2. 看護の専門職に必要な知識・技術を教授し、人々がより良く生き、より良く生を終えるために、人々の生涯を通じての看護ニーズに対応し得る能力を養います。
3. 保健・医療・福祉等の分野において、他職種の人々と連携し、看護をより有効的に機能させ、地域社会の保健医療ニーズに適切に対応できる能力を養います。
4. 地域の生活文化・歴史等を理解し、地域特性に応じた看護実践を展開できる能力を養います。
5. 自己啓発能力と研究的態度を身に付け、看護学を体系化し発展させる能力を養います。
6. 国際・異文化理解とコミュニケーションの能力を身に付け、国際的視野をもって活動できる能力を養います。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学では、地域に根差した看護専門職者を養成する大学として、高等学校での教育段階までに次のような資質を身につけた学生を求めます。

1. 看護専門職者として活躍するために、社会に貢献したいという強い意思を持ち、日頃から人々の営みや社会の動き、さらにはそれらの背景に関心を寄せ、理解を深めようと努めていること。
2. 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけるために、基礎的な学力を偏ることなく幅広く身につけていること。特に生命科学の基礎となる生物、化学については、基礎的な知識にとどまらず身につけておくことが望ましい。
3. 身につけた知識を基盤に、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけるために、日々の生活や学習の中で、自らの考えをまとめられ、的確に判断して行動できるとともに、自らの言葉で具体的に説明できること。
4. 看護専門職者としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけるため、日々の生活の中で積極的に周囲の人との交流を持ち、多様な人々とともに協働して学ぶことができる。
5. 現代社会の多様性を尊重し、看護専門職者となるにふさわしい倫理観と社会的マナーを身につけているとともに、日々の生活の中で自律心を持って主体的に行動でき、自己研鑽に努める習慣があること。
6. 本学の卒業生に対しては、三重県内の保健・医療・福祉分野において指導的な立場での活躍が期待されている。そのため、本学が行っている高大接続事業に参加し、地域の医療に貢献する意思を強く持ち、高校生活を通して学級活動や課外活動などでリーダーシップを身につけ、活躍していることが望ましい。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

教育課程は、学位授与方針に示した能力を修得できるように、高い倫理観や豊かな人間性を育む「教養・基礎科目群」、保健・医療・福祉に関する幅広い知識を得る「専門支持科目群」、様々な看護へのニーズに応え得る専門性を育成する「専門科目群」、看護専門職者としての資質を高める「総合科目群」で構成し、以下の内容の科目により編成する。

また、教育課程の実施にあたっては、学生の主体的な学習を促す教育方法を導入し、そのための環境づくりを行う。さらに、学習成果については、学位授与方針に基づいた各授業科目の到達目標や達成度を明確に提示したうえで成績評価を行い、学生自身においてもその時々々の学修の達成状況を確認できる仕組みを積極的に取り入れる。

- A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につける科目
- B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につける科目
- C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける科目
- D 様々な職種との連携において、看護専門職としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につける科目
- E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける科目
- F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につける科目
- G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につける科目
- H 人々の健康に関する課題の解決に向けて、安心・安全・安楽・自立を基本とした看護を実践する技能を身につける科目
- I 自己の課題に対して研鑽する態度を身につける科目

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

看護専門職者として人々の生涯を通じての看護のニーズに応え得るために、以下にあげる能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に、学士(看護学)の学位を授与する。

- A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度)
- B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)
- C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)
- D 様々な職種との連携において、看護専門職としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。(技能・表現)
- E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)
- F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。(技能・表現)
- G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)
- H 人々の健康に関する課題の解決に向けて、安心・安全・安楽・自立を基本とした看護を実践する技能を身につけている。(技能・表現)
- I 自己の課題に対して研鑽する態度を身につけている。(姿勢・態度)

目 次

インターネット出願について

教育理念、教育目標

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

I	募集人員	1
II	入学者選抜試験実施日程	1
III	特別入試	2
1	地域推薦入試A	2
2	地域推薦入試B	3
3	帰国子女入試	5
4	社会人入試	6
5	指定校特別枠推薦入試	7
6	地域推薦入試C	8
	平成30年度三重県立看護大学特別入試の実施教科・科目等について	9
IV	一般入試	11
	平成30年度三重県立看護大学一般入試の実施教科・科目等について	13
V	障がい等のある入学志願者との事前相談	14
VI	出願について	14
VII	学生募集要項の発表	14
VIII	資料の入手方法等	14
IX	個人別評価の提供	16
	資 料	
	・平成30年度三重県立看護大学入学者選抜方法等	18
	予 告	
	・平成31年度三重県立看護大学入学者選抜試験における特別入試（指定校推薦入試） の実施について（予告）	20
	・平成31年度三重県立看護大学入学者選抜試験における募集人員の変更に ついて（予告）	21

I 募集人員

学部	学科	入学定員
看護学部	看護学科	100名

募 集 人 員							
特 別 入 試						一 般 入 試	
地域推薦 入試A	地域推薦 入試B	帰国子女 入試	社会人入試	指定校特別 枠推薦入試	地域推薦 入試C	前期日程	後期日程
32名 (地域推薦入試 Bの5名程度、 指定校特別枠 推薦入試の 2名を含む。)	5名程度	若干名	若干名	2名	5名	一般枠45名 (帰国子女入試、 社会人入試の若 干名を含む。) 地域枠5名	13名

II 入学者選抜試験実施日程

区分		出願期間	試験日	合格発表日
特 別 入 試	地域推薦入試 A	平成29年11月1日(水) ～平成29年11月7日(火)	平成29年11月18日(土)	平成29年11月24日(金)
	地域推薦入試 B			
	帰国子女入試			
	社会人入試			
	指定校特別枠 推薦入試			
地域推薦入試 C	平成30年1月22日(月) ～平成30年1月25日(木)	平成30年2月3日(土)	平成30年2月6日(火)	
一 般 入 試	前期日程	平成30年1月22日(月) ～平成30年1月31日(水)	平成30年2月25日(日)	平成30年3月8日(木)
	後期日程		平成30年3月12日(月)	平成30年3月20日(火)

Ⅲ 特別入試

1 地域推薦入試A

募 集 人 員	32名（地域推薦入試Bの5名程度、指定校特別枠推薦入試の2名を含む。）
出 願 資 格 ・ 要 件	<p>次のいずれにも該当し、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者とします。</p> <p>(1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、三重県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者</p> <p>(2) 次の①、②のいずれかに該当し、かつ、平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者</p> <p>① 三重県内の高等学校に在学する者</p> <p>② 平成29年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者</p> <p>(3) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」『「地理歴史」・「公民」』の評定平均値が3.8以上である者※</p> <p>(4) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者</p> <p>※評定平均値の計算方法は次による。</p> <p>{「国語」+「数学」+「外国語」+「理科」+（「地理歴史」+「公民」）×1/2} ×1/5</p> <p>上記は、指定教科毎に算出した各教科の評定平均値を教科名で表示。（掛け算後の数値は全て小数点以下第2位を四捨五入します。）</p>
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する基礎学力検査及び面接の結果を総合して行います。大学入試センター試験は課しません。（詳細は9ページを参照してください。）
出 願 方 法	<u>インターネット出願</u>
出 願 期 間	平成29年11月1日（水）～平成29年11月7日（火）
試 験 日	平成29年11月18日（土）
合 格 発 表 日	平成29年11月24日（金）
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立大学である本学では、三重県内で活躍する看護師、保健師、助産師など医療従事者の養成を一つの使命としています。 そのため、卒業後、特に三重県内の医療機関で働こうと考えている受験生からの出願を強く望んでいます。 ・ 地域推薦入試Bと併願が出来ます。その場合は、地域推薦入試Bでの合格が優先されます。 ・ 不合格となった者は、地域推薦入試Cの出願手続きを行い、受験することが出来ます。

2 地域推薦入試B

募 集 人 員	5名程度
出願資格・要件	<p>次のいずれにも該当し、三重県内の市町長及び高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者とします。</p> <p>(1) 推薦市町に4年以上就業する強い意思を有する者</p> <p>(2) 推薦市町と卒業後に貢献する地域の保健・医療・福祉について十分な話し合いを行っている者</p> <p>(3) 平成30年3月高等学校（三重県内の高等学校に限らない。）を卒業見込みの者</p> <p>(4) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「『地理歴史』・「公民」』の評定平均値が4.3以上である者※</p> <p>(5) 高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」又は「生物」を履修している者</p> <p>(6) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者</p> <p>※ 評定平均値の計算方法は次による。</p> $\{「国語」+「数学」+「外国語」+「理科」+(\text{「地理歴史」}+\text{「公民」})\times 1/2\}\times 1/5$ <p>上記は、指定教科毎に算出した各教科の評定平均値を教科名で表示。 (掛け算後の数値は全て小数点以下第2位を四捨五入します。)</p>
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する外国語及び面接の結果を総合して行います。大学入試センター試験は課しません。（詳細は9ページを参照してください。）
出 願 方 法	<u>インターネット出願</u>
出 願 期 間	平成29年11月1日（水）～平成29年11月7日（火）
試 験 日	平成29年11月18日（土）
合 格 発 表 日	平成29年11月24日（金）

備 考	<p>・県立大学である本学では、三重県内で活躍する看護師、保健師、助産師など医療従事者の養成を一つの使命としています。</p> <p>そのため、卒業後、特に三重県内の医療機関で働こうと考えている受験生からの出願を強く望んでいます。</p> <p>・平成30年度入試において推薦を行う市町は下記のとおりであり、推薦する人数は各市町において決定します。</p>			
	記			
	市町名	職 種	担 当 部 署	電 話 番 号
	伊勢市	看護師	市立伊勢総合病院 経営企画課	0596-63-9053
	松阪市	看護師	松阪市民病院 経営管理課総務係	0598-23-1515 (内線：273)
	桑名市	看護師 助産師	桑名市役所 地域医療課	0594-24-0562
	尾鷲市	看護師	尾鷲総合病院 総務課総務経営係	0597-22-3111
	亀山市	看護師	亀山市役所 健康福祉部長寿健康づくり課	0595-96-8208
	熊野市		熊野市役所 健康・長寿課	0597-89-3113
	御浜町	看護師	御浜町役場 健康福祉課	05979-3-0511
	紀宝町		紀宝町役場 健康づくり推進課	0735-32-3700
	志摩市	看護師	国民健康保険志摩市民病院 管理係	0599-73-8877
	伊賀市	看護師	伊賀市立上野総合市民病院 病院総務課	0595-41-0065
玉城町	看護師	玉城町国民健康保険玉城病院 事務局	0596-58-3039	
南伊勢町	看護師	南伊勢町役場 福祉課健康増進係	0599-66-1114	
<p>(注1) 上記以外の市町は推薦を行いません。</p> <p>(注2) 熊野市、御浜町及び紀宝町は、合同で当制度を利用。</p>				
<p>・地域推薦入試Aと併願が出来ます。その場合は、地域推薦入試Bでの合格が優先されます。</p> <p>・不合格となった者は、地域推薦入試Cの出願手続きを行い、受験することが出来ます。</p>				

3 帰国子女入試

募 集 人 員	若干名
出願資格・要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者とともに外国に在留し、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）のうち、外国において最終学年を含め 2 年以上継続して教育を受け、平成 28 年（2016 年）4 月 1 日から平成 30 年（2018 年）3 月 31 日までの間に卒業（修了）した者若しくは卒業（修了）する見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>ただし、外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学して教育を受けた期間は、上記の「2 年以上」の期間に算入されません。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を、平成 28 年（2016 年）又は平成 29 年（2017 年）に授与された者で、平成 30 年（2018 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を、平成 28 年（2016 年）又は平成 29 年（2017 年）に取得した者で、平成 30 年（2018 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を、平成 28 年（2016 年）又は平成 29 年（2017 年）に取得した者で、平成 30 年（2018 年）3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p>
選 抜 方 法	調査書の審査、本学が実施する基礎学力検査及び面接の結果を総合して行います。大学入試センター試験は課しません。（詳細は 9 ページを参照してください。）
出 願 方 法	<u>インターネット出願</u>
出 願 期 間	平成 29 年 11 月 1 日（水）～平成 29 年 11 月 7 日（火）
試 験 日	平成 29 年 11 月 18 日（土）
合 格 発 表 日	平成 29 年 11 月 24 日（金）
備 考	・地域推薦入試 A と同程度の合否判定基準を設定しています。

4 社会人入試

募 集 人 員	若干名
出願資格・要件	<p>次のいずれにも該当する者とします。</p> <p>(1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、その専門分野における実践及び教育・研究に携わっていく意欲を有する者</p> <p>(2) 大学入学資格を有する者</p> <p>次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p>⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p> <p>⑧ 前各号に定めるもののほか、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者</p> <p>注：出願資格⑧により出願する者は、平成29年8月25日（金）午後5時までに三重県立看護大学教務学生課へ問い合わせてください。</p> <p>(3) 平成30年3月31日までに23歳以上に達し、大学入学資格取得後、社会人の経験を3年以上有する者</p> <p>注1：就業しながら定時制若しくは通信制の学校に在籍していた期間は社会人経験期間に含みます。</p> <p>注2：家事・家業従事・パートの期間も社会人経験期間に含みます。</p>
選 抜 方 法	調査書の審査、本学が実施する基礎学力検査及び面接の結果を総合して行います。大学入試センター試験は課しません。（詳細は9ページを参照してください。）
出 願 方 法	<u>インターネット出願</u>
出 願 期 間	平成29年11月1日（水）～平成29年11月7日（火）
試 験 日	平成29年11月18日（土）
合 格 発 表 日	平成29年11月24日（金）
備 考	・地域推薦入試Aと同程度の可否判定基準を設定しています。

5 指定校特別枠推薦入試

募 集 人 員	2名
出 願 資 格 ・ 要 件	<p>次のいずれにも該当し、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者とします。</p> <p>(1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、三重県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者</p> <p>(2) 本学が指定する三重県東紀州地域内の高等学校を平成 30 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(3) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」『「地理歴史」・「公民」』の評定平均値が 4.0 以上である者※</p> <p>(4) 高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」及び「生物」を履修している者</p> <p>(5) 本学が実施する高大接続事業に参加し、看護職者としての自身の適正について考察を経た者</p> <p>(6) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者</p> <p>※評定平均値の計算方法は次による。 $\{「国語」 + 「数学」 + 「外国語」 + 「理科」 + (「地理歴史」 + 「公民」) \times 1/2\} \times 1/5$ 上記は、指定教科毎に算出した各教科の評定平均値を教科名で表示。 (掛け算後の数値は全て小数点以下第 2 位を四捨五入します。)</p>
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する面接の結果を総合して行います。(詳細は 9 ページを参照してください。)
出 願 方 法	<u>インターネット出願</u>
出 願 期 間	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～平成 29 年 11 月 7 日 (火)
試 験 日	平成 29 年 11 月 18 日 (土)
合 格 発 表 日	平成 29 年 11 月 24 日 (金)
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦できる人数は、1 高等学校につき 1 名とします。 ・指定校は、本学への入学実績等を基準に選定します。

6 地域推薦入試C

募 集 人 員	5名
出 願 資 格 ・ 要 件	<p>次のいずれにも該当し、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者とします。</p> <p>(1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、三重県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者</p> <p>(2) 次の①、②のいずれかに該当し、かつ、平成30年3月に高等学校を卒業見込みの者</p> <p>① 三重県内の高等学校に在学する者</p> <p>② 平成29年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者</p> <p>(3) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史」「公民」の評定平均値が3.5以上である者※</p> <p>(4) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者</p> <p>※評定平均値の計算方法は次による。</p> <p>{「国語」+「数学」+「外国語」+「理科」+(「地理歴史」+「公民」)×1/2}×1/5</p> <p>上記は、指定教科毎に算出した各教科の評定平均値を教科名で表示。(掛け算後の数値は全て小数点以下第2位を四捨五入します。)</p>
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、大学入試センター試験、本学が実施する面接の結果を総合して行います。(詳細は10ページを参照してください。)
出 願 方 法	<u>インターネット出願</u>
出 願 期 間	平成30年1月22日(月)～平成30年1月25日(木)
試 験 日	平成30年2月3日(土)
合 格 発 表 日	平成30年2月6日(火)
備 考	<p>・ 県立大学である本学では、三重県内で活躍する看護師、保健師、助産師など医療従事者の養成を一つの使命としています。</p> <p>そのため、卒業後、特に三重県内の医療機関で働こうと考えている受験生からの出願を強く望んでいます。</p>

平成 30 年度三重県立看護大学特別入試の実施教科・科目等について

学部・学科名及び 入学定員等	区分	基礎学力検査・個別学力検査等		配点等						
		教科	科目名等	国語	数学	理科	外国語	面接	配点 合計	
看護学部 看護学科 定員 100 名 特別入試 地域推薦入試 A：32 名 (地域推薦入試 B の 5 名程度、指定校特別枠推薦入試の 2 名を含む。) 地域推薦入試 B：5 名程度 帰国子女入試：若干名 社会人入試：若干名 指定校特別枠推薦入試：2 名 地域推薦入試 C：5 名 一般入試 前期日程：一般枠 45 名 (帰国子女入試、社会人入試の若干名を含む。) 地域枠 5 名 後期日程：13 名	地域推薦入試 A 帰国子女入試 社会人入試	基礎 学 力 検 査	国語	国語総合 (古文・漢文を除く。)	100	100	100	100	※	400
			数学	数学 I、数学 A						
	理科	化学基礎と生物基礎、 化学、生物から 1	外国語	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II コミュニケーション英語 III 英語表現 I 英語表現 II						
		その他	面接							
	地域推薦入試 B	基礎 学 力 検 査	外国語	コミュニケーション英語 I コミュニケーション英語 II コミュニケーション英語 III 英語表現 I 英語表現 II				100	※	100
			その他	面接						
	指定校特別枠 推薦入試	その他	面接						※	

- ・調査書と推薦書については、参考とします。
- ・(※)「面接」は A B C の 3 段階評価を行い、その評価が C の場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とします。
- ・地域推薦入試 A、帰国子女入試、社会人入試の「基礎学力検査」は、本学で学ぶために必要な基礎学力を問うものです。
- ・「化学」は、「化学基礎」及び「化学」の全範囲を出題範囲とします。
- ・「生物」は、「生物基礎」及び「生物」の全範囲を出題範囲とします。
- ・地域推薦入試 B の「外国語」は、本学で学ぶために必要な英語能力を問うものです。
- ・「外国語」の試験については、地域推薦入試 A・帰国子女入試・社会人入試と地域推薦入試 B を同一の問題により実施します。

学部・学科名 及び 入学定員等	区分	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		基礎学力検査・ 個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科	出題範囲・ 科目名等	試験 区分	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	面接	配点 合計		
看護学部 看護学科 定員100名 地域推薦入試C 5名	地域 推薦 入試 C	国語	国語(必須)	その他	面接	センター 試験	100	100 *(注)	理科	100 (注)	100	250	※	650		
		地理 歴史	世界史A、世界史B、 日本史A、日本史B、 地理A、地理B						公民							
		公民	現代社会、倫理、政治経済、 倫理・政治経済													
		理科	物理、化学、生物(うち1科目必須)													
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学Bから1			計	100	100 *(注)	100 (注)	100	250		650			
		外国語	英語(必須)													
		[4教科5科目]又は[5教科5科目]														

<大学入試センター試験の利用教科・科目名>欄

- ・外国語の「英語」には、リスニングテストを含みます。
- ・指定した教科数・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を利用します。
- ・平成30年度入学者選抜では、平成30年度大学入試センター試験の成績を利用します。
- ・平成30年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験しなかった場合は失格となり、個別学力検査等を受験できません。

<大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等>欄

- ・調査書と推薦書については、参考とします。
- ・配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- ・(※)「面接」はABCの3段階評価を行い、その評価がCの場合は、総得点の如何にかかわらず不合格とします。
- ・(注) 大学入試センター試験の理科、地理歴史、公民から計2科目の得点を合否判定に利用します。利用する科目・得点の利用順は以下のとおりです。
 - ① 理科の高得点科目
 - ② 理科の残りの受験科目(2科目受験の場合)と地理歴史、公民の受験科目のうち最も得点の高い科目

IV 一般入試

実施方法	個別学力検査等を分離分割方式（前期日程及び後期日程）により実施します。
募集人員	前期日程 一般枠 45名（帰国子女入試、社会人入試の若干名を含む。） 地域枠 5名 後期日程 13名
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当し、かつ平成30年度大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目を受験した者としてします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者</p> <p>(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成30年3月までに合格見込みの者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p> <p>(8) 前各号に定めるもののほか、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>注：出願資格(8)に該当する者は、平成29年8月25日（金）午後5時までに三重県立看護大学教務学生課へ問い合わせてください。</p>
選抜方法	<p>前期日程：調査書の審査、大学入試センター試験、本学が実施する個別学力検査及び面接の結果を総合して行います。</p> <p>後期日程：調査書の審査、大学入試センター試験、本学が実施する面接の結果を総合して行います。</p> <p>（詳細は13ページを参照してください。）</p>
出願方法	<u>インターネット出願</u>
出願期間	前期日程・後期日程とも 平成30年1月22日（月）～平成30年1月31日（水）
試験日	前期日程：平成30年2月25日（日） 後期日程：平成30年3月12日（月）

合格発表日	前期日程：平成30年3月8日（木） 後期日程：平成30年3月20日（火）
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・地域枠とは、三重県の保健医療を担う人材の確保を目的に設定するものです。 地域枠に出願できるのは、次の①、②のいずれかに該当し、かつ、平成30年3月に高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業見込みの者です。 ① 三重県内の高等学校に在学する者 ② 平成29年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者 ・前期日程一般枠と地域枠は併願が出来ます。その場合は、一般枠での合格が優先されます。ただし、地域枠のみに出願は出来ません。

平成 30 年度三重県立看護大学一般入試の実施教科・科目等について

学部・学科名 及び 入学定員等	区分	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目名等	教科	出題範囲・科目名等	試験 区分	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	面接	配点 合計	
看護学部 看護学科 定員100名 一般入試 前期：一般枠 45名(帰国子 女入試、社会 人入試の若 干名を含む。) 地域枠5名 (注1) 後期：13名 特別入試：37名	前期 日程	国語	国語(必須)	外国語(必須)	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 国語総合	センター 試験	100	*100		100	100	100		500	
		地理 歴史	世界史A、世界史B、 日本史A、日本史B、 地理A、地理B	国語 } 1教科 選 択 } 数学 } 数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B (数Ⅰ・数Ⅱ・数A：全範囲) (数B：「数列」「ベクトル」)	(古文・漢文を除く。)	個別 学力 検査	*100			*100	100	※	200		
		公民	現代社会、倫理、政治経済、 倫理・政治経済												
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学Bから1												
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎か ら2又は物理、化学、生物から1	その他	面接	計	100 *200	*100		100 *200	100	200	※	700			
	外国語	英語(必須)	[5教科5科目]又は[5教科6科目]												
後期 日程	後期 日程	国語	国語(必須)	その他	面接	センター 試験	(注2)	* (注2)		(注3)	(注3)	100		700	
		地理 歴史	世界史A、世界史B、 日本史A、日本史B、 地理A、地理B			個別 学力 検査								※	
		公民	現代社会、倫理、政治経済、 倫理・政治経済												
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学Bから1												
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎か ら2又は物理、化学、生物から1	計	(注2)	* (注2)	(注3)	(注3)	100	※	700						
	外国語	英語(必須)	[5教科5科目]又は[5教科6科目]												

<大学入試センター試験の利用教科・科目名>欄

- ・外国語の「英語」には、リスニングテストを含みます。
- ・指定した教科数・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の成績を利用します。
- ・平成30年度入学者選抜では、平成30年度大学入試センター試験の成績を利用します。
- ・平成30年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験しなかった場合は失格となり、個別学力検査等を受験できません。

<大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等>欄

- ・配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- ・(※)「面接」はABCの3段階評価を行い、その評価がCの場合は、総得点の如何にかかわらず不合格とします。
- ・(注1) 前期日程地域枠においては、大学入試センターに加え、個別学力検査3教科(外国語、国語、数学)のうち高得点の1教科の成績を利用します。
- ・(注2) 後期日程において、大学入試センター試験の国語、地理歴史、公民については、100点換算後、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とします。
- ・(注3) 後期日程において、大学入試センター試験の数学、理科の2教科については、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とします。

V 障がい等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいがあり、受験及び修学において配慮を必要とする者は、出願の前にあらかじめ教務学生課まで連絡し、相談してください。

VI 出願について

特別入試及び一般入試の全ての試験区分においてインターネット出願のみとします。

大学ホームページに掲載される学生募集要項をダウンロードし、出願手続の確認をしてください。インターネット出願については、本学ホームページ (<http://www.mcn.ac.jp/>) をご覧ください。

VII 学生募集要項の発表

本学ホームページ (<http://www.mcn.ac.jp/>) で発表します。

- ・特別入試（地域推薦入試A、地域推薦入試B、帰国子女入試、社会人入試、指定校特別枠推薦入試）
平成29年9月下旬（予定）
- ・特別入試（地域推薦入試C）、一般入試（前期日程、後期日程）
平成29年10月下旬（予定）

VIII 資料の入手方法等

[1] 学生募集要項

学生募集要項は、冊子での発行はしませんので、全て本学ホームページからダウンロードしてください。

三重県立看護大学ホームページ <http://www.mcn.ac.jp/>

※インターネット環境にない場合は、教務学生課（電話：059-233-5602）までお問い合わせください。

[2] 大学案内・入学者選抜要項

大学案内・入学者選抜要項は、本学ホームページからダウンロード又は下記の手続により、冊子で入手していただくことが可能です。


(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページからテレメールを利用して大学案内及び入学者選抜要項の資料が請求できます。

詳しくは、三重県立看護大学ホームページ (<http://www.mcn.ac.jp/>) をご覧ください。

(2) インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)又は自動音声応答電話で請求する場合

①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp	スマホ・ケータイで右のバーコードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※一般電話回線からの通話料は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所氏名等の登録はゆっくり、はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届け出来ないことがあります。	

②請求を希望する資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(予定)	発送開始日
大学案内	564322	140円	配布中
入学者選抜要項	584322	140円	6月15日発送予定
入学者選抜要項・大学案内	564302	215円	6月15日発送予定

③ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

※資料は発送日の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。

なお、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。

※随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から2週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です(コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円)。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先
 テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102(受付時間 9:30~18:00)まで
 ※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(3) 大学に直接請求する場合

平日 9 時から 17 時までの間に、教務学生課までお越しく下さい。

問い合わせ先 三重県立看護大学 教務学生課

電話 059 - 233 - 5602

Ⅸ 個人別評価の提供

受験者本人の請求により、入学者選抜試験の個人別評価を提供します。

1 提供する個人別評価の内容

[1] 特別入試

- ・地域推薦入試A、地域推薦入試B、帰国子女入試、社会人入試…

基礎学力検査（地域推薦入試Bは外国語）の得点と順位、面接の評価、総合順位

- ・指定校特別枠推薦入試…

面接の評価、総合順位

- ・地域推薦入試C…

大学入試センター試験成績の教科別得点、合計得点と順位、面接の評価、総合順位

[2] 一般入試

大学入試センター試験成績の教科別得点、合計得点と順位、

個別学力検査の得点と順位（前期日程のみ）、面接の評価、総合順位

2 請求方法、提供期間については、募集要項に記載します。

資料

平成 30 年度三重県立看護大学入学者選抜方法等（特別入試）

選 抜 方法等	推薦入試								帰国子女・社会人等のための特別入試			その 他の 入試	備考	
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								推薦入 学募集 人員	帰国子 女	中国引揚者等子女			社会人
	学部・ 学科名	個別学力 検査を免 除し、大 学入試セ ンター試 験を課す る	個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	実技検査等				その他						
実技検査を課する				面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する								
看護学部 看護学科	○	×	×	○	×	×	×	35名	○	×	○	×		

(○=該当する ×=該当しない)

(注) 地域推薦入試 A・帰国子女入試・社会人入試においては、基礎学力検査を課し、大学入試センター試験を免除する。

地域推薦入試 B においては、基礎学力検査として外国語を課し、大学入試センター試験を免除する。

指定校特別枠推薦入試においては、基礎学力検査及び大学入試センター試験を免除する。

地域推薦入試 C においては、個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する。

平成 30 年度三重県立看護大学入学者選抜方法等

(一般入試、専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試)

選 抜 方法等	学部・ 学科名	個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生入試							アド ミッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 入 試	個 別 学 力 検 査 等 の 日 程	備 考 (欠 員 の 補 充 の 方 法 等)
		個別 学 力 検 査 を 課 す る	実技検査等			外国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	2 段階選抜		個別 学 力 検 査 を 課 す る	実技検査等				募 集 人 員				
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する		主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数		その他	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する		外国語におけるリスニングテストを課する			
看護学部 看護学科	前期 日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	平成30年 2月25日	追加 合格	
	後期 日程	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	平成30年 3月12日	追加 合格	

(○=該当する ×=該当しない)

予 告

**平成 31 年度三重県立看護大学入学者選抜試験における
特別入試（指定校推薦入試）の実施について（予告）**

三重県立看護大学では、平成 31 年度入学者選抜より、三重県の保健医療を担う人材の確保を目的に、特別入試（指定校推薦入試）を実施します。

今後、諸事情により内容が一部変更となる可能性もありますので、本学が発表する情報にご注意ください。

募 集 人 員	3 名程度
出願資格・要件	<p>次のいずれにも該当し、高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者としてします。</p> <p>(1) 看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、三重県内の看護実践及び教育・研究に携わっていく強い情熱と意欲を有する者</p> <p>(2) 三重県内の本学が指定する高等学校（※1）を平成 31 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(3) 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「『地理歴史』・「公民」』の評定平均値が 3.8 以上である者（※2）</p> <p>(4) 高等学校において、「物理」、「化学」及び「生物」のうち、2 科目を履修している者</p> <p>(5) 実用英語技能検定準 2 級程度以上の資格（※3）を有し、公式な証明書を提出できる者</p> <p>(6) 本学が実施する高大接続事業に参加し、看護職者としての自身の適性について考察を経た者</p> <p>(7) 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者</p> <p>（※1）三重県内の高等学校から本学の指定校推薦枠を希望する高校を募集し、3 年間の実績で評価し、最も評価の高い高等学校 3 校を指定校推薦対象校とします。</p> <p>（※2）評定平均値の計算方法は次のとおりです。 $\{「国語」 + 「数学」 + 「外国語」 + 「理科」 + (「地理歴史」 + 「公民」) \times 1/2\} \times 1/5$ 上記は、指定教科毎に算出した各教科の評定平均値を教科名で表示。 （掛け算後の数値はすべて小数点以下第 2 位を四捨五入します。）</p> <p>（※3）その他の外国語検定については実情に応じて判定するので、出願の前に本学に問い合わせてください。</p>
選 抜 方 法	調査書・推薦書の審査、本学が実施する面接の結果を総合して行います。
試 験 日	平成 30 年 11 月初旬
合 格 発 表 日	平成 30 年 11 月初旬
そ の 他	推薦できる人数は、1 高等学校につき 1 名とします。 指定校推薦対象校は、本学への入学実績等を基準に選定し、3 年更新とします。

平成 31 年度三重県立看護大学入学者選抜試験における募集人員の変更について（予告）

三重県立看護大学では、平成 31 年度入学者選抜より、募集人員を下記のとおり変更します。

今後、諸事情により内容が一部変更となる可能性もありますので、本学が発表する情報にご注意ください。

学部・学科名 及び 入学定員等	区分		平成 31 年度入試 (今回の予告)	平成 30 年度入試 (予告済)	平成 29 年度入試 (現行)
			募集人員	募集人員	募集人員
看護学部 看護学科 100 名	一般入試	前期日程	一般枠 45 名(帰国子女入試、社会人入試の若干名を含む。) 地域枠 5 名	一般枠 45 名(帰国子女入試、社会人入試の若干名を含む。) 地域枠 5 名	50 名(帰国子女入試、社会人入試の若干名を含む。)
		後期日程	10 名	13 名	15 名
	特別入試	地域推薦入試 A	35 名 (地域推薦入試 B の 5 名程度、指定校特別枠推薦入試の 2 名、 <u>指定校推薦入試の 3 名程度</u> を含む。)	32 名 (地域推薦入試 B の 5 名程度、指定校特別枠推薦入試の 2 名を含む。)	30 名 (地域推薦入試 B の 5 名程度を含む。)
		帰国子女入試	若干名	若干名	若干名
		社会人入試	若干名	若干名	若干名
		地域推薦入試 B	5 名程度	5 名程度	5 名程度
		地域推薦入試 C	5 名	5 名	5 名
		指定校特別枠推薦入試	2 名	2 名	—
		指定校推薦入試	3 名程度 * 出願資格・要件等は、「平成 31 年度三重県立看護大学入学者選抜試験における特別入試(指定校推薦入試)の実施について(予告)」をご確認ください。	—	—